

要 約

p-トルイジンのヒメダカによる初期生活段階毒性試験

<試験条件>

- ・被験物質：*p*-トルイジン
- ・試験生物：ヒメダカ(*Oryzias latipes*)
- ・暴露期間：40日間(ふ化後30日間)
- ・試験濃度：10.0、5.00、2.50、1.25及び0.625 mg/L(公比2.0)の5濃度区及び対照区
- ・連 数：4連/試験区
- ・試験生物数：60個体/試験区(15個体/1試験容器)
- ・試験用水：脱塩素水道水
- ・試験方式：流水式(換水率；12回/日)
- ・試験液の調製：供試試料を試験用水に溶解させて調製
- ・試験液量：約1.8 L/試験容器
- ・水 温：24±1℃(胚期)、23±2℃(ふ化後)
- ・照 明：室内灯、16時間明／8時間暗
- ・給 餌：アルテミアふ化幼生を飽食量給餌
- ・エアレーション：なし
- ・試験液中の被験物質濃度の分析：HPLC法
(暴露開始時、暴露開始7、14、21、28及び35日後)

<結 果>

- ・試験液中の被験物質濃度(対平均値)：87.6～119%
 - ・LOEC(最小影響濃度)：1.18 mg/L*
 - ・NOEC(最大無影響濃度)：0.598 mg/L*
- (*上記濃度は、測定濃度の算術平均値に基づく値)